

■社会（地域）貢献への取り組み

（１）「一般社団法人あいづ地域振興研究所」の設立と活動

2017年7月、会津地域を中心に福島県の地域振興を図るため、会津地域の企業及び富士通株式会社様との協業により、福島県河沼郡柳津町に一般社団法人を設立しました。

国内における少子高齢化が進む中、それに加えて、福島県は震災と原発事故の影響という大きな課題を抱えており、未だに風評被害による地域経済への多大なる影響を及ぼしています。当該法人では、これらの地域課題を解決する手段として、ICT（情報通信技術）を積極的に活用することで、地域振興と経済好循環の確立に寄与していきたくと考えています。

【事業活動】

- (1) 地域振興に関する施策の調査研究事業
- (2) 地域の経済活動を活性化させる施策の実施に関する事業
- (3) 地域の名産物及び特産物の開発と販売の支援に関する事業
- (4) 地域振興に資する事業体への投資
- (5) その他当法人の目的を達成するために必要な一切の事業

【2017年度活動概要】

会津地域の抱える様々な問題を「観光業振興」、「商工業振興」、「農林水産業」の観点から具体的な支援策を講ずるための企画を行っています。



尾瀬を源流とし、会津地方を流れる只見川



会津の名刹・福満虚空藏菩薩圓藏寺

（２）インターンシップ&中学生職場体験

当社では、夏季、冬季の休みを利用した「1 dayインターンシップ」研修を実施しております。2016年度は53名と多くの学生の方々に参加いただきました。研修内容はその名の通り1日で「システムエンジニアにとって一番大事なことは何か？」が体験できるグループワークが中心です。参加いただいた学生さんからは「システムエンジニアの仕事のイメージが具体的に変わった」、「時間に対する考え方が印象に残った」など、嬉しい感想をいただきました。

また、地元郡山市内の中学校からの依頼による職場体験も実施しています。ここ数年3校から各校5名程度の生徒さんが参加し、コンピューターのセキュリティに関することや、LEGOロボットを操作するプログラミング体験から、働くことや、会社について様々なことを学んでいただいています。

将来、エフコムと一緒に働けることを楽しみにしています。



名刺交換練習の様子



プログラミング体験の様子

(3) 「おもてなし認証」の取得

2017年1月から登録開始となった「おもてなし規格認証2017」に当社も6月23日登録いたしました。この制度は、国内のサービス産業事業者のサービス品質を「見える化」するために経済産業省が創設した制度です。

外国を旅行したとき、現地の人や店員さんに笑顔で親切にされると、その国のことが一瞬で好きになります。逆にブスッと不愛想にされると、その国のことがちょっと嫌いになる。出会ったその人で、その国の印象が決まってしまうことがあります。エフコムを訪れるお客様に接するときの私たち社員は、その意味で

全員、エフコム代表なのだ

と思います。

エフコムの企業理念に「お客様にとって高品質な商品やサービスを提供する」とあるように「エフコム品質のコミュニケーションも提供できるはず！」という気持ちで『おもてなし規格認証2017』に、登録しました。



『おもてなし規格認証2017』登録証

(4) アピオフェスティバルで模擬店参加 (大好評！)

弊社社会津オフィスがある、会津若松卸商団地協同組合(会津アピオ)にて、2017年9月に第11回アピオフェスティバルが開催されました。

毎年弊社から模擬店を出店しており、今年は「型抜き」を行いました。

子どもからご老人まで、幅広い世代の方に大好評で、「子どもの頃、良くお祭りでやったな〜」「懐かしい！」など、聞こえました。

今後も地域社会貢献の為、活動を続けて行きます！

エフコムブースの様子



遊ぼうべこ〜!



(5) 福島県民球団「福島ホープス」の応援

2015年、BCL (BaseballChallengeLeague) において、福島県初のプロ野球県民球団である「福島ホープス」が新たに参入しました。その福島ホープスは、「子供たちが福島で育ち、笑顔を増やしてほしい」「野球というスポーツを通じて望みを持ち、地域の交流も活発になってほしい」等子供たち、地域の方々が「野球を通じて」色々な「望み」をもっていただける一助になればという思いで「望み：HOPE」と命名しています。

当社では、その思いに賛同し、福島県の復興と未来へ向けて、「望み」をもって応援しています。

エフコムマッチ (冠試合) の様子

エフコム応援団 選手と一緒に『記念撮影』

